

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第41号

平成31年4月16日発行
発行/千葉県がんセンター

基本理念

私たちは、心と体にやさしく、希望の持てるがん医療を提供します。

巻頭言



Hit the half way point

研究所長 ^{なが} 永 ^せ 瀬 ^{ひろ} 浩 ^き 喜

平成の30年の歴史が終わり、本がんセンターニュースが手元に届くときには新元号令和となっているかと思う。がんセンター研究所は、センター開設時より併設され、新病院建設終了後の2022年に東病棟を改築して新たな研究所として、次期半世紀の歴史を刻み始めることとなる。私も千葉県がんセンター研究局の研究局長として就任後、定年までの半分の年月が流れた。この間、研究局は他の公的がんセンター同様に研究所と名称変更され、研究所長として頑張らせていただいている。前任の高名な先生方の後任としての重責のなか、研究所員が出来るだけ研究を行いやすい環境を作ろうと以下の如く少しずつだが改革に取り組んできた。まだまだ改善点は多々あるがほぼ体制を整えられてきたと考えている。

県職員全員が科学研究費補助金研究代表者として研究費をボトムアップに獲得することで最低額の研究費を取得する仕組みを成立させ、大型研究費と合わせて毎年2億弱の外部資金が継続的に取得できるようになった。さらに研究者が先端研究に専念できるよう専任の担当者が操作する高額研究機器を整備したことで質の高い先端研究が出来る工夫や実験動物費用・プラ

スチック類などの共通消耗品の中央管理無償化、事務的手続き補助の仕組みなど研究を行う研究者により利益が還元される仕組みを確立した。また災害時の避難経路確保、セキュリティ確立、文献アクセス利便性向上、論文執筆時のソフト無料配布、研究倫理のeラーニング整備等を行った。これらの整備によって日本医療研究開発機構等の資金援助を複数受け、中分子創薬開発や臓器培養といった新たな最先端研究が開始されるに至っている。さらに遺伝子診断部が新たに医療局の下で本格的ながんゲノム医療に取り組むこととなった。

残された半分の任期で、研究所はゲノムに続く先端医療をがんセンターに芽生えさせ最先端のがん医療が出来る千葉県がんセンターの確立のため、メディカルAIに舵を取っている。遺伝子配列を解析することなく、画像や血液の簡便な検査でがんの種類やゲノム異常を予測する方法、刻々と変わる個々の患者のその時その場での病態を予測し精密医療（Precision Medicine）による分子標的治療、免疫治療、細胞治療が受けられる、さらに緩和、在宅医療が施せる仕組みを研究・開発する。これからも研究所は高度先進的な医療を目指して、がんセンター病院とともに令和の新時代での飛躍に向けて効率的に取り組んでいきたい。

臨床の現場から

当科における、「からだにやさしい手術（腹腔鏡下手術）」について

婦人科部長 田中 尚武

腹

腹腔鏡下手術は手術創が従来の開腹手術と比較し、創部が小さく（図参照）、女性にとっての美容上の利点、入院期間が短い、早期の社会復帰（仕事への復帰）が可能、術中出血量が少ないなど、患者さんへのメリットは大きいことが特徴です。また、骨盤深部臓器の拡大視や狭い空間での操作性に優れていることは手術を行う立場からも大きな利点です。当科では以前より良性卵巣腫瘍に対する、腹腔鏡下付属器腫瘍摘出術は行ってきましたが、2018年4月より、婦人科内視鏡技術認定医の赴任に伴い、子宮筋腫や子宮内膜症に対する腹腔鏡下子宮全摘術を開始し、また、同年11月からは早期子宮体癌に対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術を開始しました。その結果、平成30年度全腹腔鏡手術46例（うち腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術9例）を施行しております。

良性疾患に対する腹腔鏡下手術として子宮頸部前がん病変である高度異形成や子宮内膜異型増殖症（放置しておくとも将来子宮体がんへ進展する疾患の高い病気）

に対して、子宮全摘術を御希望される方に腹腔鏡下子宮全摘術（TLH）を行っております。また、閉経周辺期で過多月経等の症状を有する子宮筋腫に対しても、子宮温存の希望がなければTLHを行ったり、ホルモン治療により大きな子宮筋腫を縮小させてから同手術を行うこともできます。悪性腫瘍については現在、早期子宮体がんに対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術を行っていますが、本年4月以降に早期子宮体癌に対するロボット手術（ダヴィンチ手術）も開始する予定です。

今後、より多くの婦人科良性腫瘍、悪性腫瘍を有する患者さんに腹腔鏡下手術を受けていただけるよう、本年4月から月曜日午後「腹腔鏡外来」を新設します。患者さんあるいは医療機関から、腹腔鏡手術施行の御希望、御依頼がある際には是非「腹腔鏡外来」を予約、受診いただき担当医と御相談いただくようお願いいたします。



県民公開セミナー

今年で17回目を迎える県民公開セミナーを、平成30年10月27日（土）午後1時から千葉駅7階ペリエホールA、Bで開催しました。今回のテーマは「がんにならない・負けない生活習慣」です。山口病院長によるあいさつの後、医療局長の飯笹先生が「タバコによる煙害ー肺がんにより愛する人をなくさないためにー」、診療部長の高野先生が「がんになるリスクを減らすための生活習慣」、研究所の中村さんが「たばこによるがんは予防出来るか?」と題し、講演しました。後半の総合討論では、座長の高野先生を中心に講演者が、参加者の皆様から寄せられた質問にお答えしました。

当日は、64名の方に御参加いただきました。来場者の方々から寄せられたアンケートには「有益なお話でした」、「質問形式はよかった」とのお声をいただいた一方で、セミナーの運営・広報の面で率直な御意見もあり、今後の課題としていきたいです。



地域医療連携室だより

がんピア・サポーター養成研修

心と体総合支援センター 高山 亘

平

成30年度千葉県がんピア・サポーター養成研修が行われました。千葉県の委託事業として、様々な不安や悩みを持つがん患者やその家族に対し、がん体験者（ピア）の立場から共感に基づくサポートを行える人材としてピア・サポーターを養成するもので、3年に一度、千葉県がんセンターで開催されます。今回は28名の参加があり、8月4日から9月22日まで計4回の研修が行われました。

研修の内容はがんの基礎知識として、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、血液がん、緩和治療、精神腫瘍学の講義があり、それ以外に北里大学佐々木先生にがん治療の概要について、国立がん研究センター若尾先生に科学的根拠の考え方とインターネットを使った情報収集に

ついて講演して頂きました。

またワークショップ形式で自己の体験を語る、サロン形式のロールプレイなど趣向を凝らした研修が行われました。

研修受講修了にはすべてのカリキュラムへの参加が必須であり、ハードな研修でしたが一人の脱落者もなく、無事に全員受講を修了しました。

今後、千葉県のがん拠点病院等で開催されるピア・サポーターズサロンちばに数回の研修を経てピア・サポーターとして参加されます。

千葉県には80名近いピア・サポーターが登録されており、毎年フォローアップ研修や、ピア・サポーター総会でピア・サポーターとしてのトレーニングを重ね、年24回のピア・サポーターズサロンちばで様々な不安を持つがん患者やその家族の支援を行っております。

他県の先生の話の聞くと、ここまでしっかりした体制ができていいる県は少なく、千葉県はよいモデルになっているとのこと。

ピア・サポーターズサロンちばの開催は「ちばがんナビ」に掲載されています。がん治療に関して不安やお悩みをお持ちのかたは是非サロンをお訪ね下さい。



標準治療と治験

治験臨床研究センター診療部長 石井 浩

標準治療とは臨床試験の結果に基づいて、第一選択としてお勧めする最高の治療です。Standard therapyの和訳である「標準」という名前から、平均的な治療と誤解する方が少なくありませんが、標準治療は最善の選択肢です。一方、治験は最先端治療（将来の標準治療候補）です。最先端がすなわち最高とは限りませんが、標準治療がない場合は考慮すべき選択肢です。当センターは最高の治療を提供するとともに、最先端の治療を幅広く揃えてみなさまのご要望にお応えします。



治験アップデート

治験臨床研究センターでは募集中の治験等の情報を提供しています。概要は以下のとおりですが、詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

当センターでは以下の治験を実施しています

ホームページアドレス

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kanja/chiken/jissijoukyou.html>



現在募集中の治験情報 H31年1月28日現在

①乳がん	8件	④膀胱がん	4件	⑦腭がん	4件	⑩悪性リンパ腫	2件
②胃がん	5件	⑤腎細胞がん	3件	⑧胆道がん	2件	⑪卵巣がん	1件
③肺がん	1件	⑥食道がん	2件	⑨頭頸部がん	1件	⑫その他のがん	4件

研究の現場から

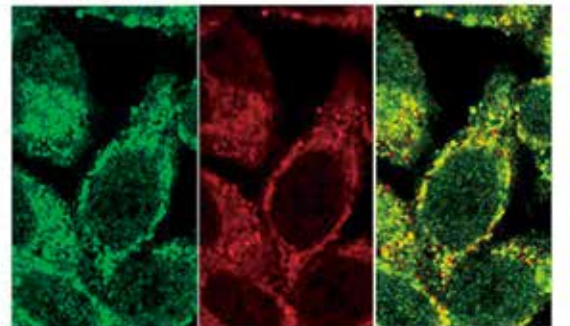
ミトコンドリア遺伝子異常からがん転移の抑制を目指して

がん遺伝創薬研究室 越川 信子

ミトコンドリアは細胞の生命活動の基本となるATPというエネルギーを大量に効率よく合成する細胞のエネルギー工場です。この工場の様々な因子を構築するDNAは核内とミトコンドリアに別れて存在します。ミトコンドリアDNA (mtDNA) 異常は代表的な疾患であるミトコンドリア病以外に、糖尿病、癌の転移に関連することが報告されています。私たちは、肺癌や大腸癌でmtDNA異常の頻度が転移を持つ原発巣や転移巣で多いという結果を得ました (Scientific reports 2017)。しかも、mtDNAは不均等分裂をするためヘテロプラスミー (変異DNAと正常DNAの混在) という状態を生じますが、がんでは、ホモプラスミー (ここでは、変異DNAのみ) になっていることが多いことも観察しています。そこで、ピロール・イミダゾールポリアミド (PIP) という、目的のDNAに対して選択的に結合するように合成できる小分子化合物を用いて、mtDNA異常によって起こる癌転移の抑制に向けた基礎研究を行っています。このミトコンドリア異常についての研究には、特任研究員として竹永啓三博士が参画してくださっています。博士は上述のScientific reportsの共著者であり、ミトコンドリア研究に造詣の深い方です。修

飾したPIPの投与により、変異型mtDNAをもつミトコンドリアのマイトファジー (細胞の持つ異常なミトコンドリアの除去能力)、続いておこるアポトーシス (細胞の自食作用) によって癌細胞の特異的な死滅を目指します。これにより、がん特異的に作用することで副作用を軽減し、かつ転移しやすいがん細胞の増殖を特異的に抑制可能になることが確認され千葉県より特許出願を行いました。

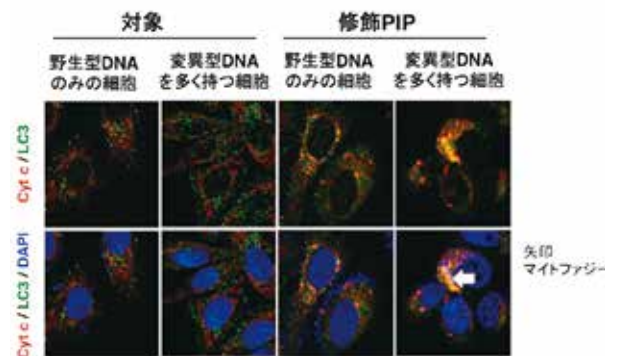
修飾PIPがミトコンドリア内に貯留している



抗-TPP

抗-Cyt C

黄色い部分が左と中央の共染色部分



看護職員 (看護師・看護補助者) 募集について

看護局では、2020年度の新棟オープンに向けて、看護師および看護補助者 (看護助手) の増員を見込んでいます。看護師については、インターンシップを年5回開催し、さらに、病院見学会を年3回開催する中で、がんセンターで行われている医療と看護をアピールし、看護人員の確保に努めています。参加した看護学生からは、とても丁寧に患者・ご家族と接する看護場面や、医師と看護師、または、看護師間の雰囲気の良いさを直接見ることができ、好評を得ています。その甲斐あって、2019年4月には看護師の新採用者が33名入職します。さらに、翌年には85名程度の新採用者が見込まれます。それだけ多くの看護師を育成するために、看護局では新たに教育部を起ち上げ、教育専任担当者を配置しました。そして、副看護部長を各部署に2名配置し、指導者層が丸となって、がんセンターへ来院された患者・ご家族へ「心と体にやさしく、希望の持てるがん医療」を提供でき、それと同時に人間性豊かな看護を実践できるように、新たな人材を育てていきたいと努力しています。

就職希望の方は、随時院内見学に対応していますので、下記宛ご連絡ください。

副看護局長 ^{かみかせだ} 上加世田 豊美

連絡先 TEL (043) 264-5431

第8回 心と体総合支援センターシンポジウム開催報告

今年もがんに関する情報提供を担う相談支援センターが企画したシンポジウムを開催。テーマは『がん治療を選ぶということ～自分で決めなきゃいけないの?～』で、講師は埼玉医科大学総合医療センタープレストケア科教授の矢形寛先生をお願いした。がんという病気の基礎から、医師が治療選択の局面でやるべきこと、コミュニケーションが大切、と言ったことなどをお話し頂いた。小学生のがん教育でお話しされた内容を踏まえて、ユーモアも交えた楽しい講演であった。

その後はこの企画の特徴である“会場参加型”としてアナライザーシステムを使ったディスカッションを行った。講師と乳がん経験者、当院肝胆膵外科医師とがん専門相談員が登壇し、コーディネーターの導きによって治療を選ぶことの実体験や医師・相談を受ける者が体験し考えている事柄を話した。

治療を選ぶことをこうして一緒に考えること、分かち合うことが出来たと感じられた。



集団音楽療法“年末音楽会”開催報告

去る12月27日に、病院1階テレビ会議室にて集団音楽療法の年末音楽会を行いました。

これは毎月藤里診療部長と音楽療法士の長島で行っている集団音楽療法よりも多くの演奏者および参加者を募って例年開催しております。今回は緩和医療科・坂下先生、呼吸器外科・松井先生、通院化学療法室看護師長・山田さん、国立がんセンター東病院治験コーディネーター・葛馬さん、音楽療法士研修生・海老原さんに出演して頂きました。会場設営や撮影にはリハビリテーション科・治験事務局・フォトセンターの方々に、また会場看護スタッフとして看護師・中澤さんにお手伝いして頂いたので、滞ることなく多くの曲目を患者さんとともに堪能することが出来ました。



出演者による完成度の高い歌と演奏に寄せられた感想は、「声を出すことも気持ち良く楽しいひとときでした」「非常に感動しました」「元気をもらいました」「女性ドラマーかっこいいな～」「院長の熱い歌声が印象的」などの声があり、多くの方が満足されたと感じています。今年の年末音楽会は12月26日に開催予定ですので皆様どうぞご期待ください。

リハビリテーション科部長 鴨田

初診担当医表

予約受付時間 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く) 9時～17時

2019年4月1日現在

診療科	月	火	水	木	金
肝胆脾外科	千葉 聡	高山 亘	高山 巨 石毛 文隆	柳橋 浩男	千葉 聡 有光 秀仁
食道・胃腸外科	池田 篤亨 外岡	鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	滝口 伸浩 池田 篤	鍋谷 圭宏 滝口 伸浩 郡司 久	早田 浩明 星野 敢
消化器内科	傳田 忠道 鈴木 拓人 喜多絵美里 三梨 桂子	傳田 忠道 須藤研太郎 天沼 裕介 南金山理乃	山口 武人 傳田 忠道 中村 和貴 三梨 桂子	傳田 忠道 鈴木 拓人 辻本 彰子 石井 桂浩	中村 和貴 須藤研太郎 天沼 裕介 北川 善康
呼吸器外科	岩田 剛和		飯笹 俊彦 岩田 剛和 松井由紀子		岩田 剛和 松井由紀子
呼吸器内科	芦沼 宏典 水野 里子	新行内雅斗 吉田 泰司 芦沼 宏典		新行内雅斗 吉田 泰司 水野 里子	芦沼 宏典
乳腺外科	山本 尚人 味八木寿子	味八木寿子 中村 力也	中村 力也 山本 寛人	山本 尚人 味八木寿子	中村 力也 味八木寿子 山本 寛人
形成外科				徳元 秀樹 新井 美波	徳元 秀樹
婦人科	鈴鹿 清美 婦人科腹腔鏡	田中 尚武 鈴鹿 清美 井尻 美輪 海老沢桂子	田中 尚武	田中 尚武 鈴鹿 清美 井尻 美輪 海老沢桂子	井尻 美輪 海老沢桂子
泌尿器科	小丸 淳 篠原 正尚	裴 祥存 <small>ベス さんじゅん</small>	宋本 尚俊	小林 将行 植村 俊彦 篠原 正尚	深沢 賢 白川 昇英 石橋 武大
腫瘍血液内科	熊谷 匡也 佐藤 昌靖 丸山 聡	辻村 秀樹 菅原 武明 小野 敬子	熊谷 匡也 菅原 武明 佐藤 昌靖	辻村 秀樹 小野 敬子	熊谷 匡也 辻村 秀樹 丸山 聡
脳神経外科	井内 俊彦		井内 俊彦	(担当医)	堺田 司
頭頸科	(担当医)	佐々木慶太 佐々原 剛 櫻井 利興		佐々木慶太 佐々原 剛 櫻井 利興	
整形外科	米本 司 塚西 敏則 木下 英幸	石井 猛 嶋田 博人 木下 英幸 萩原 洋子		石井 猛 嶋田 博人	米本 司 塚西 敏則 木下 英幸 萩原 洋子
緩和医療科	坂下 美彦	藤川 文子	坂下 美彦	藤川 文子	坂下 美彦
核医学診療部		小川 和行	久山 順平	久山 順平	小川 和行

診療予約のご案内 予約電話 043-264-5431 (代表番号) 地域医療連携室 予約担当

- *当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。
- *初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。



JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 萱田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

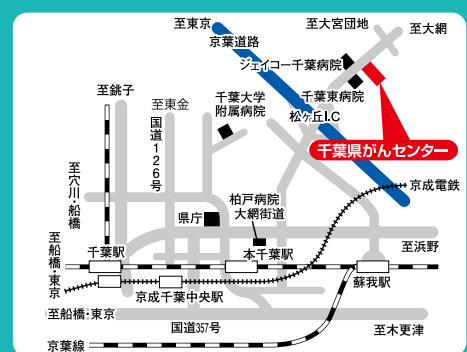
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>